

# フォーラム通信

こどもの森づくりフォーラム  
定期リリース  
(2024年11月号)

発行：こどもの森づくりフォーラム実行委員会事務局

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 NPO法人子どもの森づくり推進ネット  
tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081 Mailto:info@kodomoriforum.net https://www.kodomoriforum.net

フォーラム通信は、「こどもの森づくりフォーラム」の活動を盛り上げ、推進するネットワークづくりを目的に活動を支援する様々な団体や市民との情報共有のために発信します。



## (目次)

1. 森とふれあう体験が育む未来を担う世代に向けて  
林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室長 諏訪幹夫
2. 講師からのメッセージ  
~「豊かな森」より「近くの森」で、毎日「自由に」遊びましょ！~  
岐阜県立森林文化アカデミー教授 萩原・ナバ・裕作
3. 事例発表者からのメッセージ  
【分科会2事例発表者】徳島県那賀町役場 林業振興課 係長 横田 泰宏
4. 連携団体紹介：西条森のようちえん おむすび
5. 事務局からのお願いとお知らせ

## 「こどもの森づくりフォーラム in えひめ」開催概要

### 1. 開催趣旨

- 1) 子どもの「非認知能力（生きる力）」を育むための、「自然保育」や幼児期の森林環境教育の機運を高めます。
- 2) 保育・幼児教育関係者と森林・林業関係者、さらに地域住民が連携して、地域における自然保育や幼児期の森林環境教育の支援体制を構築します。
- 3) フォーラム終了後も、レガシーづくりとして支援を継続します。

### 2. 開催概要

- 1) 開催日：2024年11月30日(土)、12月1日(日)
- 2) 開催地：松山市民会館、えひめ森林公園、えひめこどもの城
- 3) 主催：こどもの森づくりフォーラム実行委員会  
(林野庁、国土緑化推進機構、子どもの森づくり推進ネットワーク、ニッセイ緑の財団  
愛媛県、愛媛の森林基金、松山市、伊予市、東温市から構成)
- 4) 後援：文部科学省、環境省、こども家庭庁、教育関係機関・保育関係団体・森林関係団体等の幅広い後援申請を通して、当該分野への訴求と幅広い告知等を実施。



# 1. 森とふれあう体験が育む未来を担う世代に向けて

林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室長 諏訪幹夫

「こどもの森づくりフォーラムinえひめ」の開催が間近に迫る中、愛媛県の保育・森林に携わる方を含めた多くの関係者のご協力を得て、1日目のエクスカージョンや2日目のフォーラム等多彩なイベントの準備が進んでいることに感謝申し上げます。

本フォーラムにも大きく関わる子供の自然体験の状況を見ると、コロナ禍の影響が残る令和4年の状況を調査した結果では、学校以外の自然体験に関わる行事に参加した小学生の割合が大きく減少する一方で、自然体験を多く行う者ほど自己肯定感等の非認知能力が高くなるという傾向が明らかになっています。

このような中、こども基本法に基づき令和5年12月に策定された「こども大綱」では、「こどもみんなか社会」として全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現を目標としており、この目標を達成するための重要事項の1つとして、多様な遊びや体験、活動できる機会づくりが掲げられています。そして、体験活動等が認知的スキルと社会情動的スキルの双方を育むことなどにつながる旨を明記した上で、具体的な実行計画では、学校における自然体験や森林環境教育等を取り上げています。

この取組を実現するためには、日本の自然環境の多くを占める森林、特に身近な里山の活用とともに、森林との接点が少ない教育関係者と森林活用に専門的な知見をもつ者の連携が鍵と言えます。

これらの意味でも、本フォーラムで教育関係者と森林関係者がともに集り、多様な森林環境教育等の事例を共有することは大きな意味をもつと考えています。

本フォーラムが、未来を担う心豊かな世代の育成につながる機会になるとともに、森林に対するより良い理解者となる方が多く生まれることを期待しています。

みなさん、参加をお待ちしています。愛媛で会いましょう！

(\*写真：諏訪室長)



## 2. 講師からのメッセージ

～「豊かな森」より「近くの森」で、毎日「自由に」遊びましょ！～

岐阜県立森林文化アカデミー教授 萩原・ナバ・裕作



カッパが川から離れて頭にあるお皿の水が乾いて元気がなくなるように、私たち人間も森から離れていitせいか、元気のない人が増えているようです。

そんな今だからこそ、もう一度身近な森や自然とつながる時代の到来です。

多分それは、みなさんも薄々気がついているはず。

頭のお皿が「森が足りないよ～」って知らせてくれているんでしょうね。

私たち人間が、健康で幸せに暮らしていく上で、森や自然の中での体験が重要であるという研究結果（エビデンス）が近年多数報告されています。

特に、人生の土台を築く幼児期に、森や自然の中で自由に遊ぶ体験は欠かせません。

五感へのリアルな刺激、動植物との出会い、遊びを創り出す体験など、

「森の中で」「自由に（主体的に）」遊ぶ体験を通して、子どもたちは将来幸せに生きていく際に便利な「非認知能力」を養っているようです。

そして、こうした体験を日常的かつ暮らしの中で経験することが理想的です。

「そうは言っても近くに森なんてない！」なんていう方、安心してください。小さな空き地や公園、道路脇で充分です。幼児にとつて、そこは私たち大人が思うよりも何倍も広く感じているはずです。園庭を大改造しちゃったり、地域丸ごと園庭にしちゃったりするのもいいかもしれません。

「たまに行ける豊かな森より、毎日行ける近くの森」で「自由に」遊ぶことが重要です。

これからも、子どもの森づくりフォーラムが毎年各地で開催されることをきっかけに、子どもと森が日常的につながれる空間や仕組み、体制が生まれ、地域にしっかりと根づいていくことを楽しみにしています。



（母親も子どもも森で自由に過ごす）

### 3. 事例発表者からのメッセージ

【分科会 2 事例発表者】徳島県那賀町役場 林業振興課 係長 横田 泰宏

※ 徳島県那賀町⇒ <https://www.town.tokushima-naka.lg.jp/gyosei/>

那賀町は森林豊かな町として、古くから林業が主要な産業です。しかし、現状では、林業の担い手不足が深刻化し、森林整備もおぼつかない状況となっています。そんななかで、林業担い手育成の機運醸成や木材利用の普及啓発を図るため、町は平成28年度末に木育の推進を決めました。



翌年度から木育の担当となったのですが、私個人としては、もちろん子どもらが、将来那賀町の林業に携わって頂ければ・・・と思う一方で、昨今持続可能な社会形成が求められるなか、ぐるりと自然に囲まれた那賀町の子どもであれば、当たり前のように、自然環境を考えられる人に育て欲しいと願いを込めて事業に取り組んでいます。

現在は、森林環境譲与税を財源として外部委託しつつ、森林環境教育プログラム「LEAF」を参考にした小学校向けの体系的なカリキュラム作りと、徳島県南の木育拠点施設として設立された那賀町山のおもちゃ美術館を盛り上げる（特に裏山での外遊び）ことに注力しています。

当フォーラムに参加した皆様との出会いが、子ども達に印象強く残る、面白い！授業や外遊びのプログラム作りに繋がればと考えております。



横田さん

## 4. 連携団体紹介

フォーラムのミッションを実現するためには、志を同じくする様々な団体との連携が必須です。本通信では、愛媛県を中心に自然保育や森林環境教育に取り組んでいる団体から、フォーラムとの連携のメッセージをいただきましたのでご紹介します。

### ● 西条森のようちえん おむすび

※活動内容 ⇒ <https://www.facebook.com/saijonomori/>



### ※代表 皆尾 明子さんからのメッセージ

西日本最高峰、石鎚山の麓に広がる西条市で、自然と共に過ごす野外保育と四季に応じた外遊びを楽しむ親子活動を行なっています。保育活動では「心と体で味わう」「“今”の気持ちを大切にする」「子どもを信じて見守る」「共に育ち合う」を大切に、大人も子どもも安心できる対話の場づくりを心がけています。本フォーラムでひとりでも多くの方が、森のようちえんとの素敵な出会いがありますように！



## 5. 事務局からのお願いとお知らせ

- 今年5月から隔月でお届けしてまいりました「フォーラム通信」の11月号をお送りします。愛媛での発信は最終号となります。「こどもの森づくりフォーラム」のミッションは、様々な連携と協力がなければ実現しません。通信は、運営にご協力いただける様々な方々との情報共有を目的に発信してまいりましたがいかがでしたでしょうか。お忙しい中素晴らしい原稿をご寄稿いただいた講師、事例発表者、連携団体の皆様に、あらためて御礼申し上げます。
- 11月に入り、開催日が迫ってまいりました。おかげ様で、既に多くの方に参加をお申込みいただいておりますが事務局としてはさらに多くの方にご参加いただきたいと願っており、参加者募集活動の最後の追い込みを行いたいと思っております。実行委員会、講師・事例発表者、連携団体の皆様には、SNS等での参加者募集活動にさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- そんな募集活動の一環として、フォーラムのフェイスブックを開設しました。皆様の活動情報の発信と共有サイトとしてご活用願います。

⇒ <https://www.facebook.com/profile.php?id=61565226737197>

※右のQRコードからも入れます。 ⇒

